



ANSIBLE BY RED HAT で自動化を加速

IT がビジネスバリューを提供する方法を変革する

DATASHEET

概要

近年、ビジネスにおいて速度が求められるようになっているため、企業はより良い製品をより早く市場に出さなければなりません。ただし、長いリリースサイクル、エラーの多いリリース、未承認のシャドー IT の存在により、市場の需要を満たすことは困難になっています。インフラストラクチャとデプロイのパイプラインを自動化し、ベストプラクティスの制定と実施を行い、適切なスキルを活用するための堅牢なプラットフォームがあれば、IT 担当者をサポートするものとなり、前述のような課題を克服するのに役立ちます。

は使い勝手の良い IT 自動化エンジンであり、非効率的で繰り返しの多いソフトウェアリリースサイクルを、予測可能でスケーラブル、かつシンプルなプロセスに変換します。Ansible は、クラウドプロビジョニング、アプリケーションのデプロイ、設定管理、およびサービスオーケストレーションを自動化することで、開発者が本来の仕事に集中できるようにし、デプロイパイプラインのサポートを容易にするような運用を推進します。これらの機能を併用することにより、ビジネス価値創出のための迅速、総合的、そして調和の取れたアプローチが可能になります。

IT 自動化の簡素化とモダナイゼーション

Ansible は、組織における IT 自動化のための効果的なツールを提供します。しかし、DevOps までの道のりは、長くて複雑なものとなることがあります。時代遅れの慣習を効率的な手法に置き換える必要がありますが、新しいツールやプロセスを導入するためには、組織を通じてさまざまな関係者を取り込むことが必要になります。さらに、さまざまなグループが、それぞれの作業のベストプラクティスに対応できるようにすることも必要です。

従来のデプロイプロセスの自動化

パッケージングとデプロイのワークフローを手動アプローチで達成しようとすれば、当然時間がかかり、ミスの可能性が高くなり、管理が困難になります。自動化が活用されていても、人事異動、文書化の遅れ、特殊技術スキルの低下のために、業務、デプロイ、運用チームの間で当初得られていた理解はすぐに失われてしまいます。適切な IT 自動化戦略があれば、DevOps などのレガシーをチームが処理できるようになり、組織内の相互理解や関係を深めるツールによって、プロビジョニングやデプロイを予測可能な方法で自動化できます。

標準的なアプローチおよび管理を確立

自動化が活用されている分野で、さまざまなツールやアプローチが数多く使用されていると、混乱状態が進んでいき、効率的な運用や効果的なガバナンスの妨げとなります。数多くのスクリプト言語、自動化ツール、当面の問題だけを解決する管理ソリューションがあふれている中で、業務、開発、運用チームの間で相互理解を得ることは困難です。さらに、チームのメンバーが配置換えになったり、文書化が遅れたり、選択したツールが人気やサポートを失ったりするにつれ、当初得られていた理解もすぐに失われてしまいます。企業レベルで効果的かつ効率的な自動化を実施するには、ツール、アプローチ、監視、管理を標準化することが不可欠です。

継続的改善の文化を構築する

開発、デプロイ、および管理の自動化へのインテリジェントなアプローチを確立するには、信頼できて理解しやすいプラットフォーム以上のものが必要です。信頼性の高い運用を保証し、新たな課題にもすぐに対応できる、情報収集を背景としたガバナンスが求められます。課題や観察を即座に共有し合うような、従来の部署の壁を越えたチームの協力が必要です。



facebook.com/redhatjapan
@redhatjapan
linkedin.com/company/red-hat

jp.redhat.com

IT 自動化を改善して価値創出を加速

Red Hat コンサルティングは、お客様が Ansible を適切な方法で採用および統合し、業務上の価値や市場価値を付加する標準化かつ一元化された自動化プラクティスを作成して維持し、DevOps のためのしっかりと基礎を築くことができるよう支援します。

Red Hat の専門スタッフは、ソリューション配布フレームワーク (SDF) を使用することにより、企業規模で能力向上を図りつつ、高速、反復可能、かつ戦略的な価値達成を支援します。この SDF により、必要に応じて調整することができ、拡張可能でシンプルかつパワフルな概略が提供されます。それは、繰り返すごとに価値を生み出す調査、設計、デプロイの 3 つの段階で構成されます。

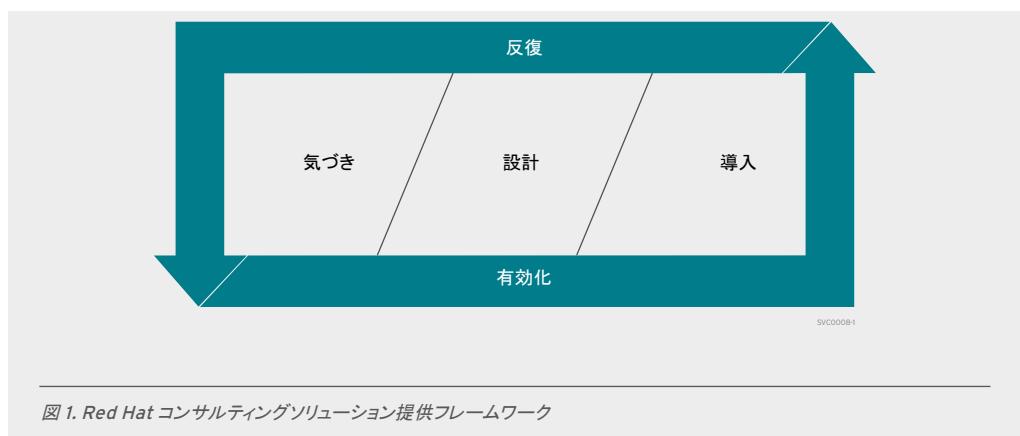


図 1. Red Hat コンサルティングソリューション提供フレームワーク

これらの段階を通じて Red Hat コンサルティングは、一連の製品、サービス、およびカスタム業務提携を適用し、それぞれのお客様固有のビジネスニーズに合わせた自動化戦略の設計、構築、スケーリングを支援します。

RED HAT コンサルティングの ANSIBLE ソリューション配布フレームワーク

| ソリューションフェーズ | 説明 |
|-------------|--|
| 調査 | <p>目標、ソリューションアプローチ、および次のステップについて検討し、次のことを達成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題や潜在的な問題点、実行可能なアプローチやテクノロジー、必要な参加者、および望ましい成果を特定 現在の状態、目的とする状態、そして変更の機会を概観 |
| 設計 | <p>次の要素をもたらすインテリジェントな計画を開発</p> <ul style="list-style-type: none"> 現行のアーキテクチャと移行に向けた組織的な実践についての分析 IT サービスの配布とスケーリングのための、人やプロセスやテクノロジーの関係する戦略 目的の環境に対応したアーキテクチャ定義 |

| ソリューションフェーズ | 説明 |
|-------------|---|
| デプロイ | <p>次のような面でチームと一体となって支援する Red Hat の専門担当者と連携を取ることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> システムやワークロードの設定、プロビジョニング、およびデプロイを自動化することによるレガシーの最新化 ツール、プロセス、およびガバナンスの標準化、および企業規模での自動化一元管理 作業方式などの文化を最適化して、共同作業の促進と作業時間の短縮 |

RED HAT コンサルティングの差別化要因

近い将来実装される機能や製品のロードマップに関する他にはない知見を有する Red Hat コンサルティングは、チームの足並みを揃え、プロセスを合理化し、エンタープライズシステムやアプリケーションがオープンソースとプロプライエタリなテクノロジーと連動するようにする上で、最適な立ち位置にあります。Red Hat コンサルティングチームは、次のものを提供します。

- 情報源からの直接的なコミュニケーション:** コンサルタントの多くは、Red Hat テクノロジーの背後にある上流オープンソースコミュニティに活発に貢献しています。コンサルタントは、Red Hat のサポートおよび製品開発の組織と直接共同作業を行い、比類のない専門チームを構成します。
- 幅広い技術上の経験:** コンサルタントは、Red Hat 製品に限らず、企業システム構築の総合的な理解に基づくガイダンスを提供します。
- メンターとしてのアプローチ:** Red Hat は、ソースコードと同じように知識もオープンにして共有しなければならないと考えています。コンサルタントは、Red Hat ソリューションに安全かつ効率的に移行するための情報やスキルを提供します。



RED HAT について

オープンソースソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備えるクラウド、Linux、ミドルウェア、ストレージおよび仮想化テクノロジーを提供、さらにサポート、トレーニング、コンサルティングサービスも提供しています。Red Hat は、お客様、パートナーおよびオープンソースコミュニティのグローバルネットワークの中核として、成長のためにリソースを解放し、ITの将来に向けた革新的なテクノロジーの創出を支援しています。

| | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|-----------------------------|
| アジア太平洋 +65 6490 4200 | インドネシア 001 803 440224 | ニュージーランド 0800 450 503 | ベトナム 800 862 6691 |
| オーストラリア 1800 733 428 | 日本 03 5798 8510 | フィリピン 800 1441 0229 | 中国 800 810 2100 |
| ブルネイ / カンボジア 800 862 6691 | 韓国 080 708 0880 | シンガポール 800 448 1430 | 香港 852 3002 1362 |
| インド +91 22 3987 8888 | マレーシア 1 800 812 678 | タイ 001 800 441 6039 | 台湾 0800 666 052 |